07-101-0603

アルフェック
ボイジャー460T ／ ボイジャー520T
取扱説明書

ARFEQ VOYAGER460T / VOYAGER520T OWNER'S MANUAL

ARFEQ™
PRODUCED BY mont·bell

警告

CAUTION

カヌー（パドルスポーツ）は、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。カヌーまたはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、製品を使用する前には必ず取り扱い説明書を熟読し、その指示に従ってください。

ARFEQ『VOYAGER460T/VOYAGER520T』ご利用の皆様へ

●この度は、ARFEQ『ボイジャー』をお買上げ頂き、誠にありがとうございました。

『ボイジャー』は、世界でも類を見ない、高い防水性を備えた超軽量・コンパクトかつ丈夫なフォールディング・カヤックです。抜群の安定性と操作性を兼ね備え、リバーツーリングや沿岸でのツーリングに最適です。また、状況に応じてソロとタンデムを使い分けることが可能です。

『ボイジャー』をご使用になる前に必ずこのマニュアル、セーフティーカヌーイングブック等をご覧になり、注意事項等内容を十分に理解してください。また、遊ぶ場所での天候・水温など、自然環境の変化に十分注意し、フォールディング・カヤックを安全に楽しんでください。

尚、製造にあたっては、万全の注意を払っておりますが、万一、欠品、具合の悪い点等がございましたら、お買上げ頂いた販売代理店、もしくは当社までご連絡下さるようお願いいたします。

ご使用前に　下記の点についてご注意ください。

○フォールディング・カヤックに乗るときは安全を心がけ、必ずフローティングベストを正しく着用してください。ヘルメットは携帯し、沈（横転）したときなどに岩等で頭をぶつける危険性のある場所では必ず着用してください。また、機材には必ず名前・連絡先を書いておいてください。

○このフォールディング・カヤックは、水深が30cmもあれば漕行可能です。しかしながら上流域に多く見られる、大岩がたくさん露出しているような激流域用には設計されていません。激流では使用しないでください。

○このフォールディング・カヤックは、アルミを主としたフレームと生地で作られています。底がついてしまうような浅瀬、及び操作しきれずに岩等に激突するような場所では破損の原因となり危険です。また、湖・大河・沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いよらぬ突風・強風が吹く場合があります。沿岸では、潮流のはやさも考えなければなりません。人力にたよっているフォールディング・カヤックの特性をよく理解し、無理せず正しくお使いください。

○このフォールディング・カヤックは、シーカヤック専用としては設計されていません。しかしながら、激流を除く、一般の川と同程度の環境の沿岸などでは同様に使用できます。但し、海水で使用した場合は、塩が結晶化して接着剤を付けたようになり、ジョイント部分等がまれに機能しなくなる場合（動かない・外れない等）がありますので、使用前に、ジョイント部分・可動部分にあらかじめ防錆潤滑剤をスプレーし、コーティング処理をしてからご使用ください。使用後は、特にジョイント部分・可動部分を十分水洗い（一晩水の中につけおきして塩抜き）し、からぶきをしてから乾燥し収納してください。アルミの腐食につきましては、耐触性アルミにさらにアルマイト加工をし、非常に腐蝕しにくい材料を使用しておりますので、メンテナンスを正しくおこなうことで淡水での使用に近い寿命でご利用いただけます。

○フォールディング・カヤックに荷物を積む場合は、艇の安定・操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。一般的に、静水時に、デッキに水がかぶるほど積載するのは危険ですので注意してください。重い物はデッキの上に積まないようにしてください。

○船体布の汚れ等は、フィールドではマイクロファイバー素材のクリーニングクロス等を使用することで、洗剤なしで泥や油汚れなどもふき取ることが可能です。また、洗剤を使用する場合は中性洗剤を薄めた溶液（10%溶液）を使用し、スポンジ等やわらかいもので落とします。（シンナー等は絶対に使用しないでください。）最後に真水を使ってきれいに洗い流してください。

○艇内に水がたくさん入ってしまった場合は、水の重さでそのまま持ち上げるとフレームがこわれる恐れがあります。片面を水面または地面に置き、少しずつ傾けながら水を必ず外に出してから持ってください。艇内に重量物が入った状態で持ち上げるとフレームに異常な力がかかる場合がありますので、同様にご注意ください。

○ファスナーの開閉は無理をせず正しくゆっくりとおこなってください。特にエアチューブの圧力が高い状態で閉めようとすると、ファスナーを壊す場合がありますので十分にご注意ください。

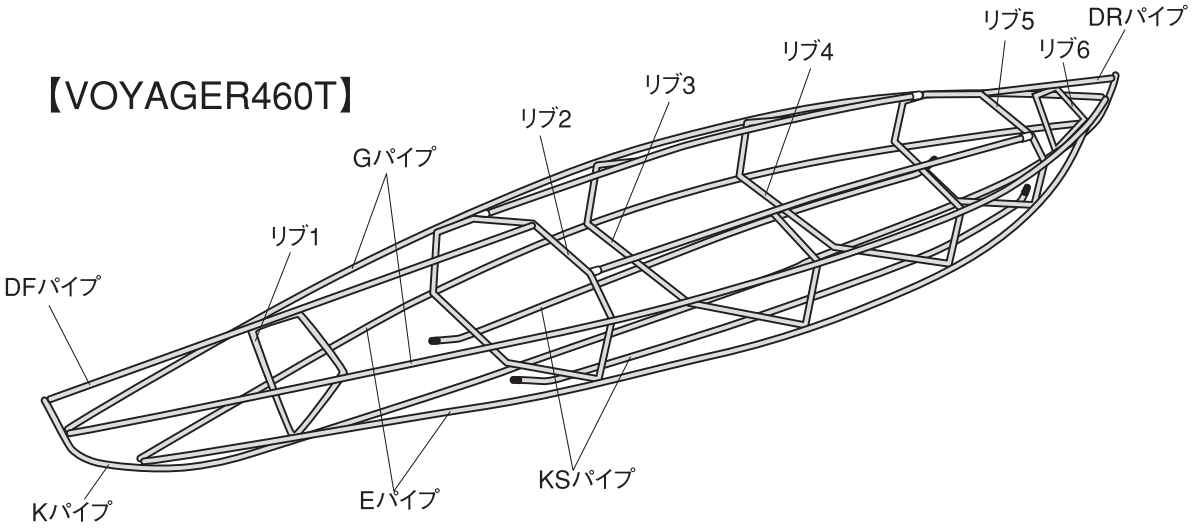
○テンションシステム（船体布を引っ張る機構）の使用方法をよく理解してから、テンションを正しくかけてください。間違えますと破損の原因になります。また、フレームパイプのジョイント部分が伸びていたり、正しく組み立てられない状態でテンションをかけると各部が破損する場合があります。注意してください。

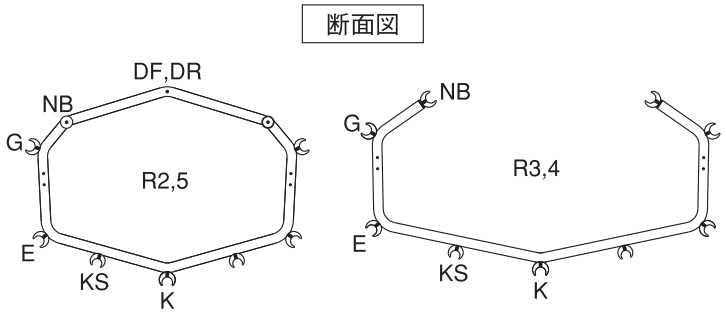
○エアチューブに空気を入れすぎないようにご注意ください。空気を入れすぎると、エアチューブポケットに入り込んだ石のかけら等でパンクの原因となる場合がありますのでご注意ください。

○このフォールディング・カヤックは、柔剛構造フレームでデザインされています。艇全体は、漕行時に十分な強度がとれるように設計されると同時に、船体布、フレームが人間の身体のように、多少柔軟性を持って、衝撃を吸収し、こわれにくく出来ています。しかしながら、パイプ・生地に集中的に力がかかるような使い方は破損の原因となりますのでご注意ください。

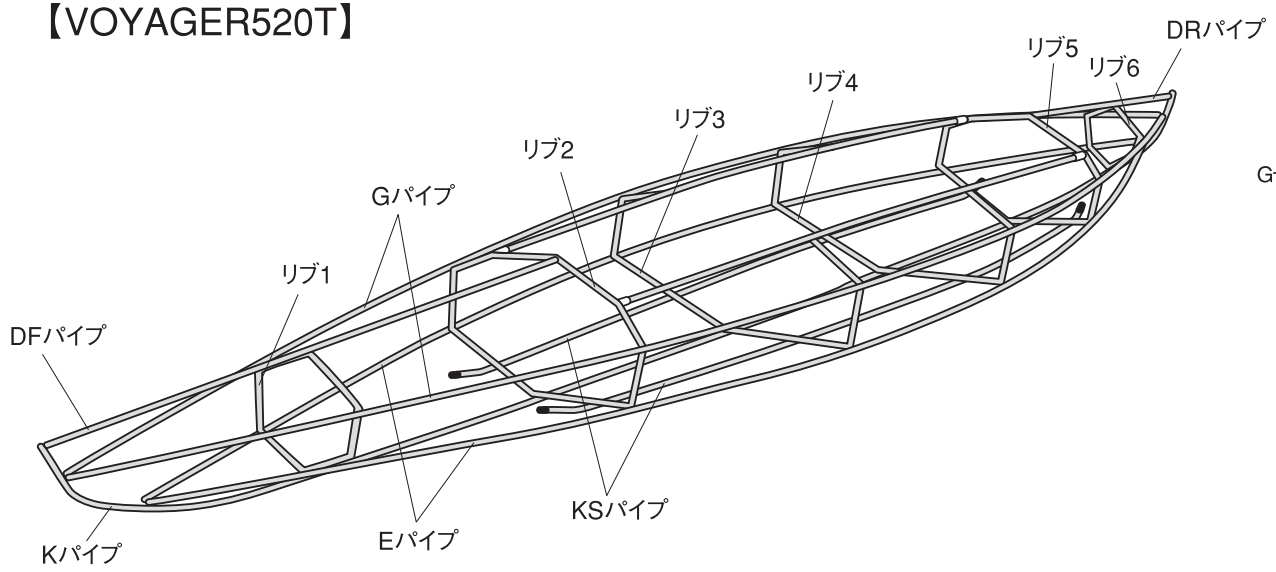
VOYAGER460T／520Tフレーム名称

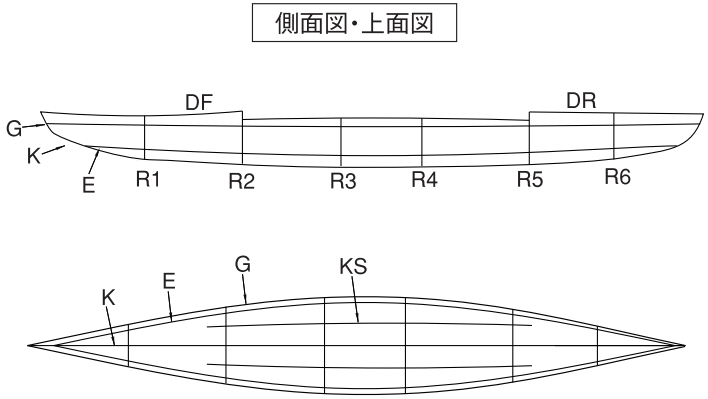
【VOYAGER460T】





【VOYAGER520T】





ボイジャー460T／ボイジャー520T セットアップ

主な写真・説明は460Tを参考にしています。組み立て方法に関しては520Tと共通です。

1、パーツ類のチェック

キャリングパックの中から各パーツを取り出し不足がないことを確認してください。

ボイジャー460T／520Tセット内容

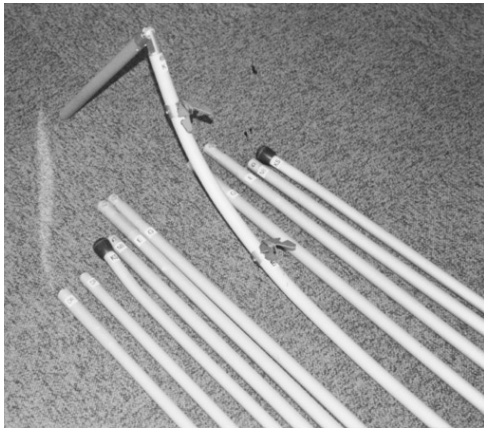
- フレームパイプ（K×1、G×2、E×2、KS×2、NB×2、DF×1、DR×1）
- クロスリブ（1～6）　・船体布×1　・シート×2
- フットブレイス×2　・スタンエンドカバー×1
- キャリングパック×1　・フレームケース×1　・エアポンプ×1
- リペアセット×1　・取扱説明書×1
- オーナー登録カード×1

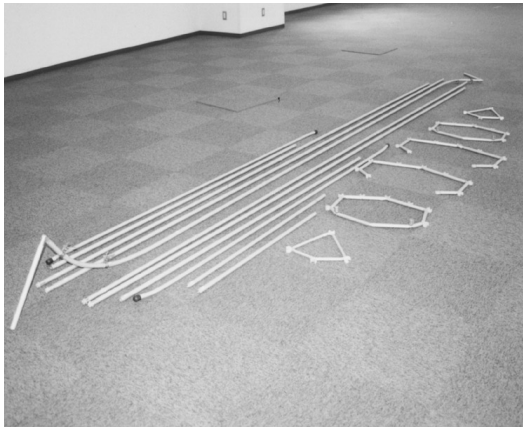
2、フレームの組み立て

（1）各パイプをつなぐ

パイプは水平の状態が一番つなぎにくいので（外すときも同様）、必ず斜めにしておこなってください。

（2）各パイプを並べる

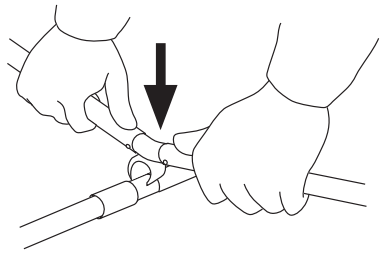




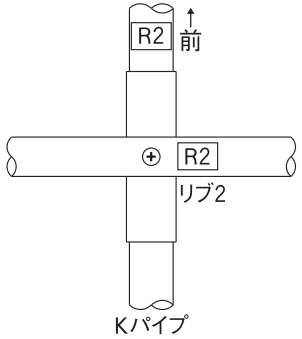
＜注意＞各パイプの名称ラベルとカラーテープが付いている方が前。
※赤→G（ガンネル）、青→E（エッジ）。これを間違えると組めないので注意。

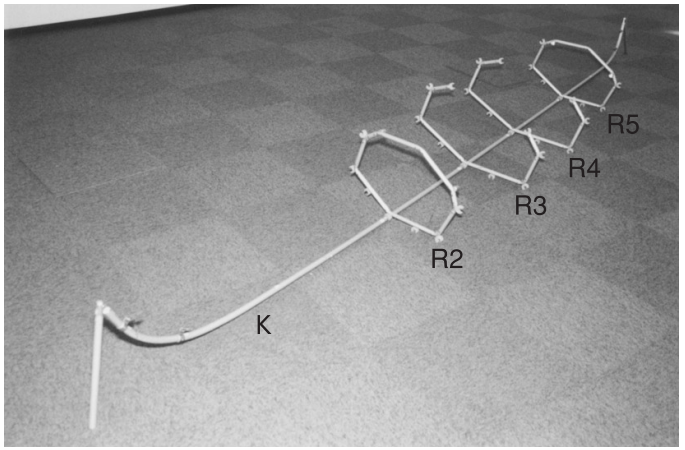
(3) Kパイプに各リブを取り付ける

Kパイプの各リブ取り付け溝にあるステッカーとリブにあるステッカーのナンバー、向きを合わせてください。



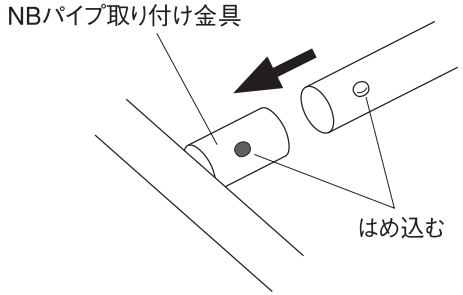
Kパイプの各リブの取り付け溝に、リブ2～5をステッカーの向きを合わせて図のように立てます。（NBパイプ取り付け金具が内側向きになるように取り付けます。）

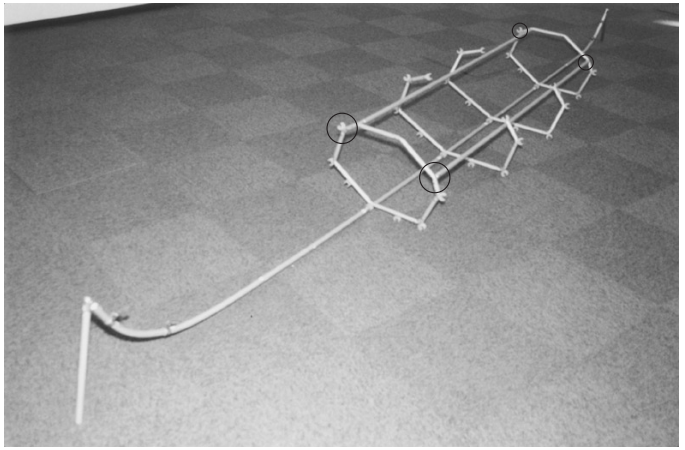




(4) NBパイプの取り付け

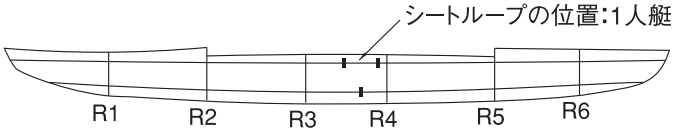
リブ2・5に図のようにNBパイプを取り付けます。NBパイプ取り付け金具にジョイントピンで固定してください。
この時、間のリブ（リブ3・4）へは、まだ取り付けないでください。

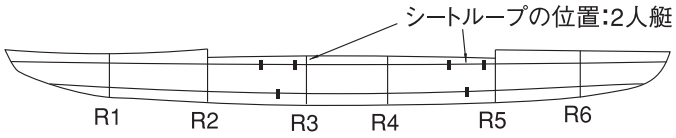




(5) シートループ位置の確認

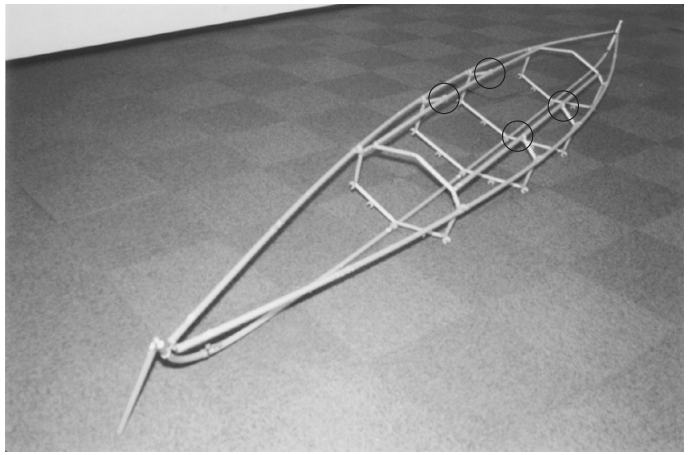
Gパイプ、Eパイプを取付ける前に片側2個（左右で4個）、Eパイプは片側1個（左右で2個）をあらかじめ図のように移動しておきます。



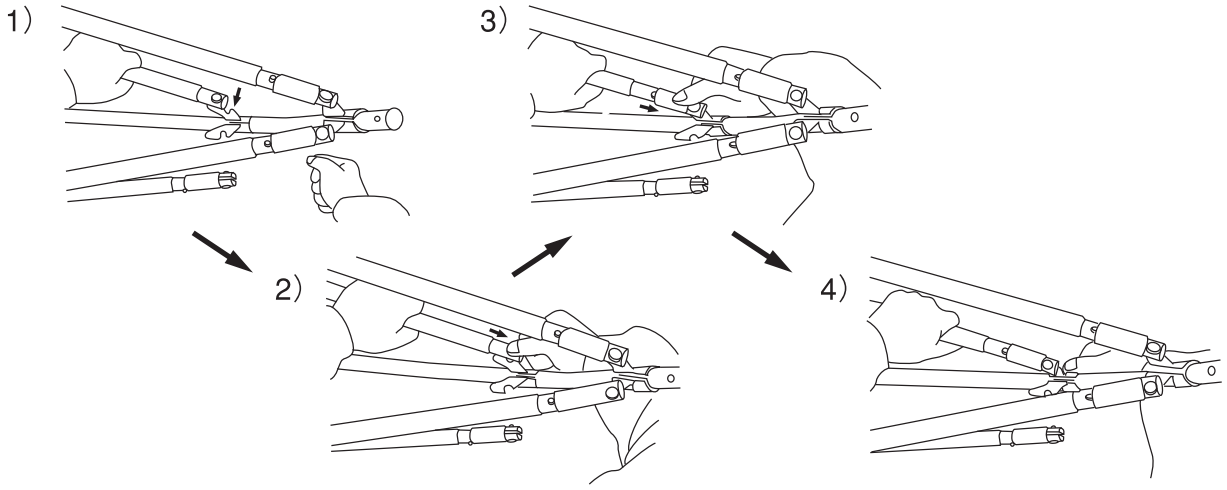


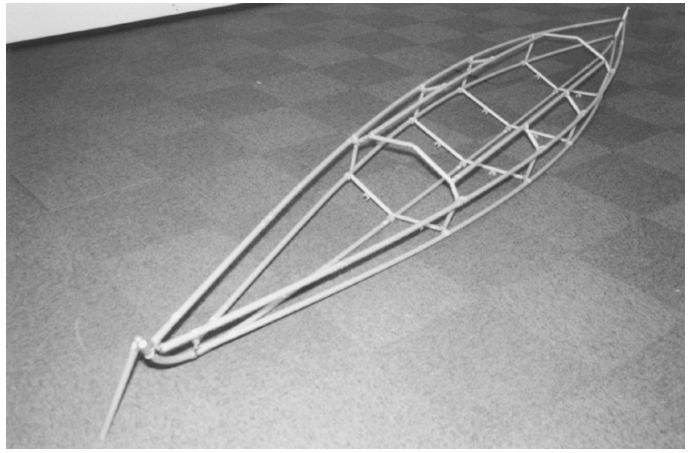
(7) NBパイプの取り付け

リブ3・4にNBパイプを取り付けます。



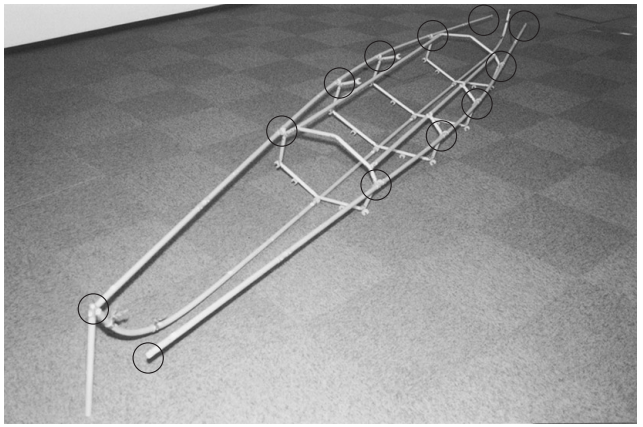
(8) Eパイプの取り付け



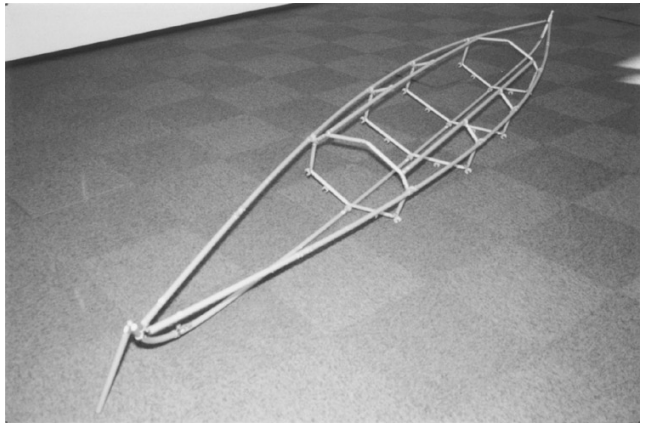


Gパイプと同様にEパイプを取り付けます。取り付け位置はKパイプと並べて確認してください。
※Eパイプの先端はGパイプとは違いのびるようになっていますのでAタングの位置に合わせて取付けてください。

（6）Gパイプの取り付け

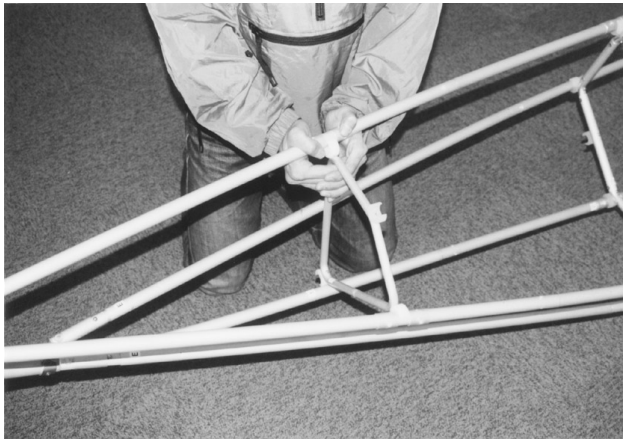


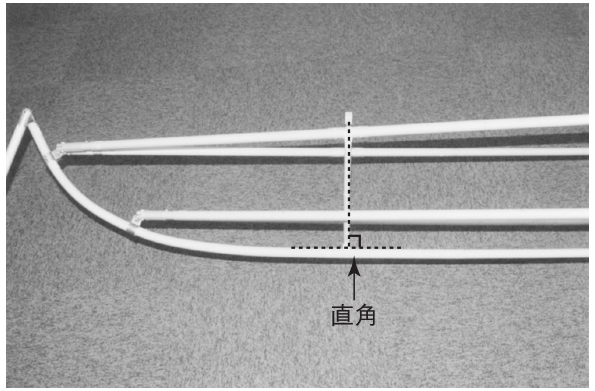
Gパイプの前後を間違えないように注意し、ストッパー（節のような所）にリブ3・4のチャンネル（三日月型のパーツ）を取り付けます。
（各ストッパーの溝の位置はGパイプの前後をKパイプのAタング（虫の翼のような金具）にあわせると確認できます。）
リブ2・5も同様に取り付けてください。



Aタング（虫の翼のような金具）にGパイプ先端を取り付けます。膝の上にKパイプをのせて、適度な反りがついた状態でおこないます。
一方の手でGパイプを引き寄せ、もう一方の手で金具の傾き調整、スライド操作をおこなってください。
＜注意＞Kパイプが地面にぴったり付いた反りがつかない状態で組むと、設計上Gパイプの長さが足りなくなるため接続部分を途中で伸ばす原因となり、組上がり時の全長が長くなってしまう可能性があります。ジョイント部、取り付け部がずれていればKパイプを上下させて合わせます。
Aタングの角度が合っていなければAタングを動かして修正してください。

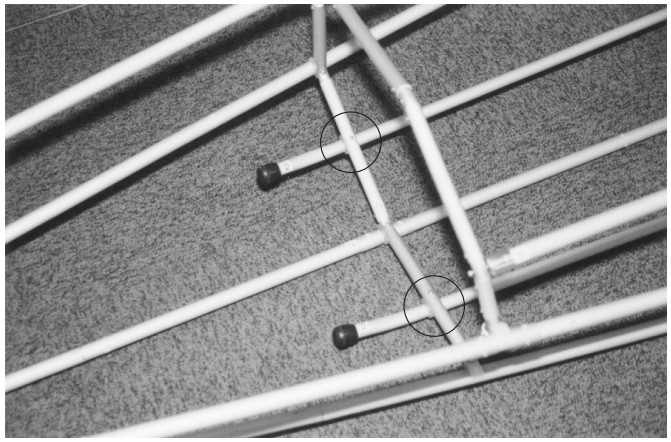
(9) 残りのリブの取り付け

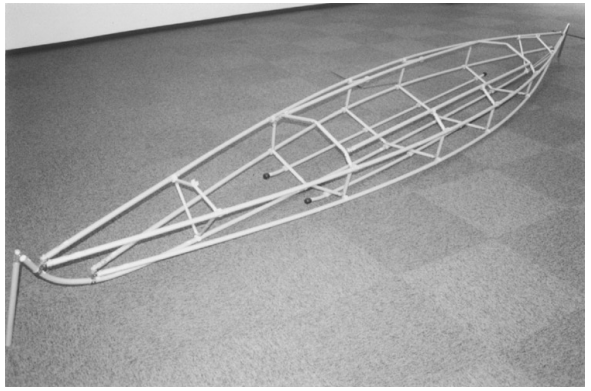




リブ1・6をGパイプの各リブ取り付け溝（Kパイプのステッカー『1』『6』と同位置にある）へそれぞれ取り付け、
そのままリブ本体がKパイプとほぼ直角になるようにKパイプへ取り付けます。

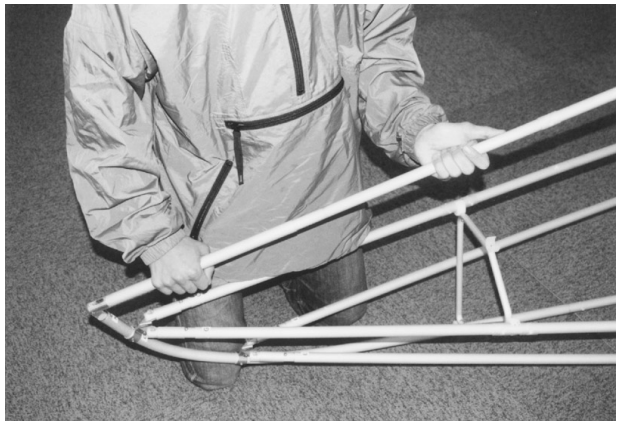
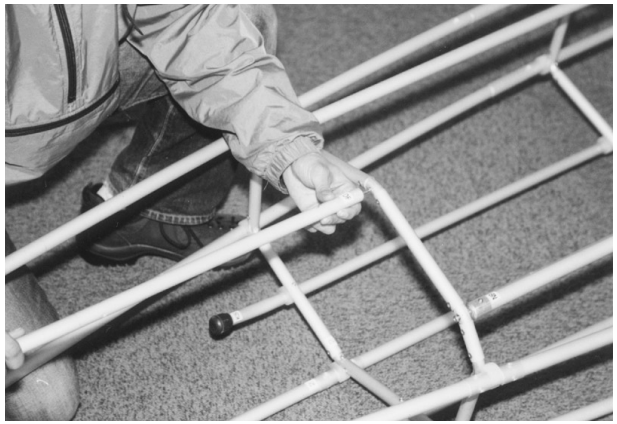
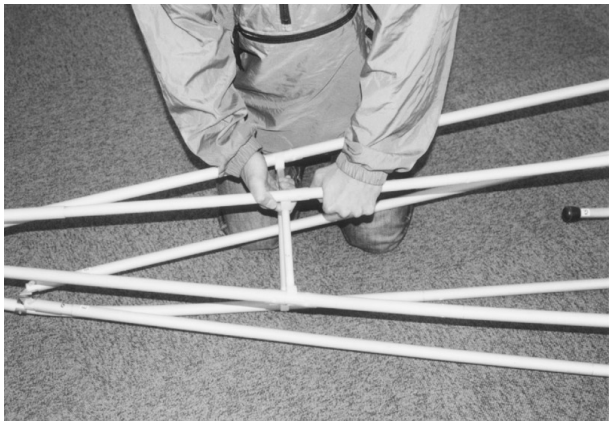
(10) KSパイプの取り付け





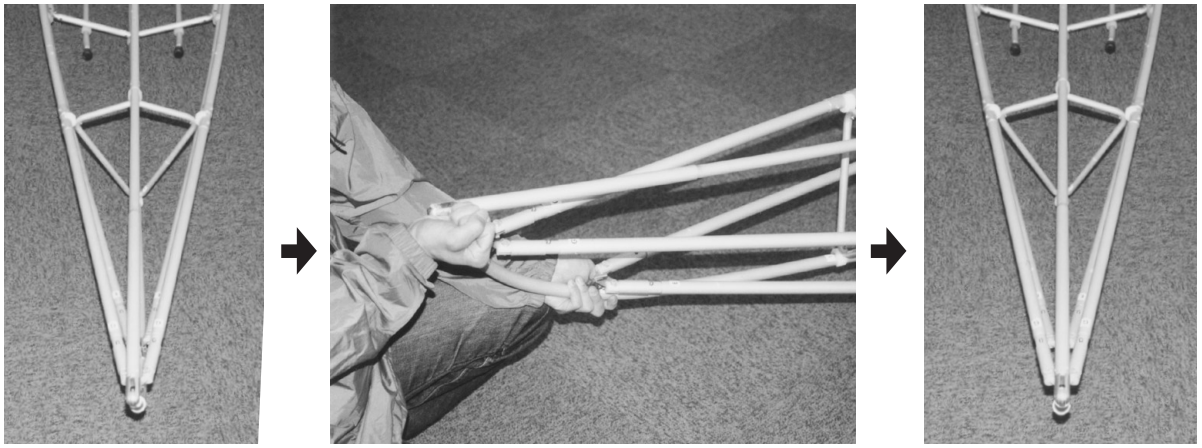
リブ2のチャンネル（三日月型の部品）へKSパイプの直線部分の始まりを取り付けます。
この時、曲がっている方（ゴムキャップ）が艇の内側を向くように注意してください。そのままリブ3・4・5へ取り付けます。
KSパイプの後端も内側を向けて取り付けてください。

（11）DFパイプの取り付け

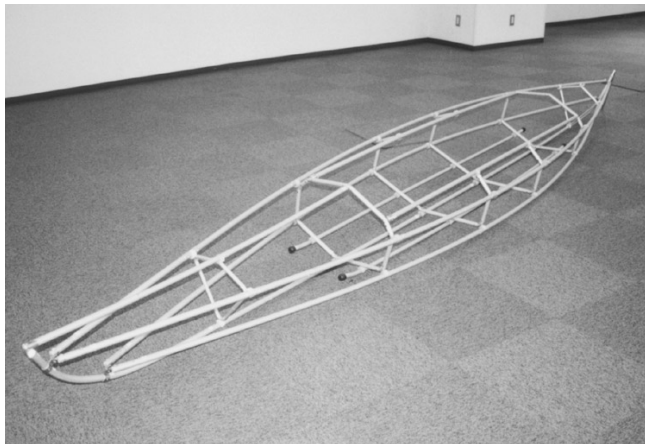




Kパイプ先端の可動パーツ（TB-F）にDFパイプのピンの無い方を差し込み、リブ2上部の穴にDFパイプの先端ピンを奥まで差し込みます。
次に、DFパイプの途中の、パイプが二重になっている部分がリブ1とリブ2の間になるように、DFパイプをリブに取り付けます。

（12）フレームのゆがみの修正



真上から見てDFパイプとKパイプが一直線上になければ、先端が左右どちらかに倒れていますので、軽くたたいて修正してください。

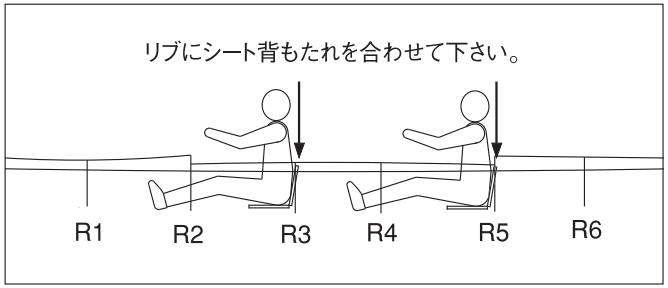


DRパイプを除くフレーム部分の組み立ては完了です。
（※DRパイプはセールにテンションを掛ける際に取り付けます。）

（13）シートを取り付ける

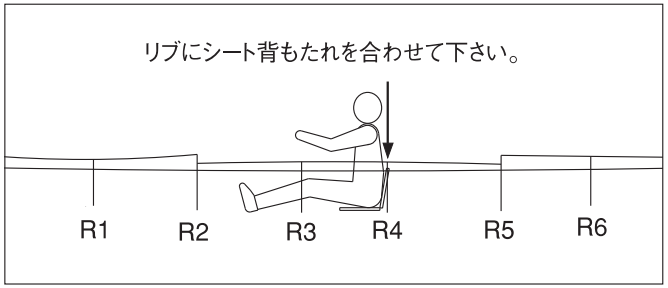
1.シートの取り付け位置

＜二人艇の際のシート位置＞

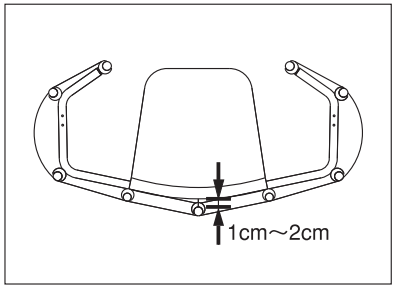


前席をリブ2とリブ3の間
後席をリブ4とリブ5の間

＜一人艇の際のシート位置＞



リブ3とリブ4の間



シート座面高さは、キールパイプとシートの間が1cm～2cm程度が標準です

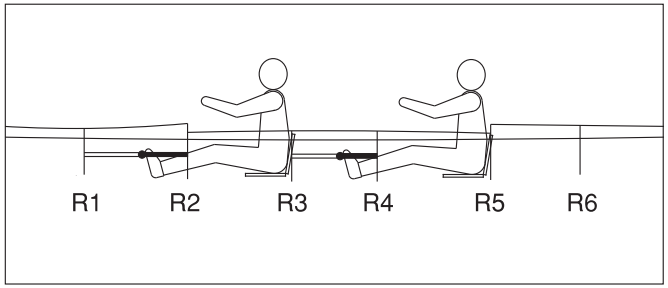
2.シートの取り付け方法

座面横の各3本のテープのうち、両端の2本のテープはGパイプへ、中央のテープはEパイプのシートループへ接続します。
シートの座面の高さを、テープをアジャストして調整します。次に、背面の二重になっているテープの後側にあるテープをNBパイプへ取り付けます。
＜注意＞背面の前面のテープは船体布をセットした後に取り付けます。

（14）フットブレイスの取り付け

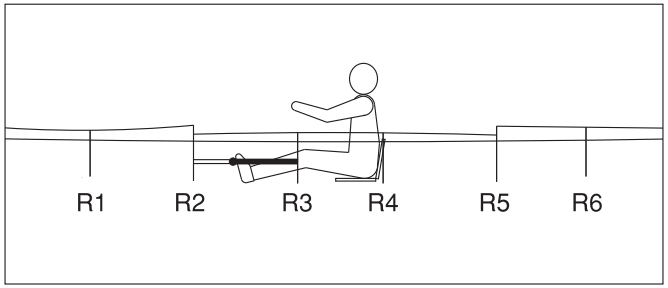
1.フットブレイスの取り付け位置

＜二人艇の際の位置＞



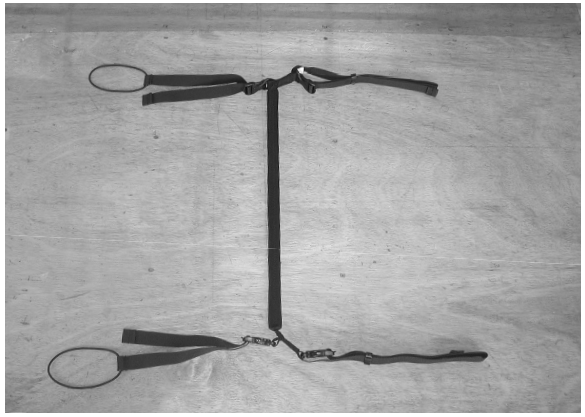
長い方をリブ3とリブ4の間
短い方をリブ1とリブ2の間

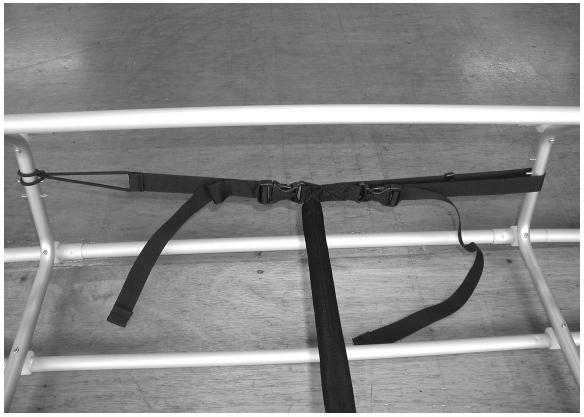
＜一人艇の際の位置＞



短い方をリブ2とリブ3の間

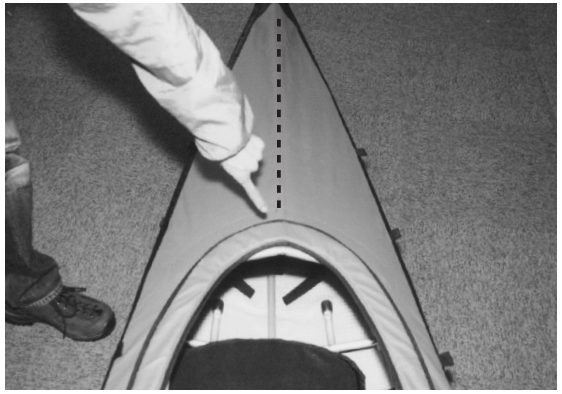
2.フットブレイスの取り付け方法





上図のようにリブとリブを内側から引くように取り付けます。
この時、実際にシートに座り、自分の姿勢の一番合う位置へ前後・高さを調節し、固定してください。

（15）船体布にフレームを入れる

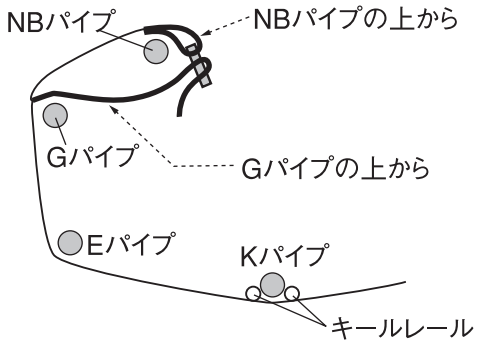


船体布を広げ、フレーム前後を間違わないように注意しながら船体布に入れます。必ずこれ以上入らないという所までしっかり押し込んでください。この時、キールレール（ボトム内側の中央にある溝）にKパイプを合わせて、センターがずれないように注意してください。

※エアチューブのホースがパイプに挟み込まれないように注意してください。

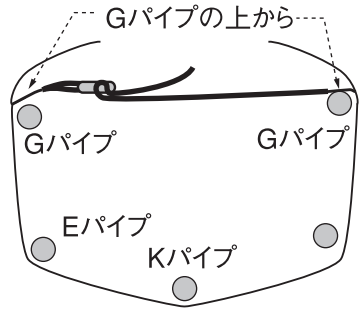
（16）コーミングベルト,ファスナーバックアップベルトの仮止め

【コーミング断面図】 重要



コーミングの横・内側にあるコーミングベルトを仮止めします。下側のバックルのないベルトをGパイプの上へ引き上げ、上側のバックルの付いたベルトをNBパイプの上から巻き込み上下のベルトをテンションを掛けないように軽くとめます。（断面図参照）

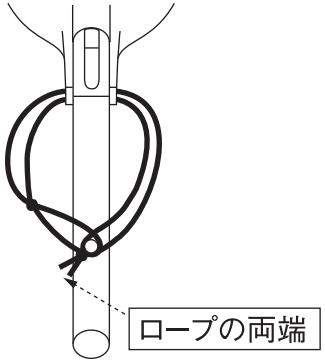
【リアデッキ断面図】



リアのデッキ内側のファスナーバックアップベルトを仮止めします（2箇所）。コーミングベルトと同様に三角布をGパイプの上に引き上げ左右のベルトを軽くとめます。

（17）船体布にテンションを掛ける（無理をせずテンションの掛けすぎに十分注意しておこなってください。）

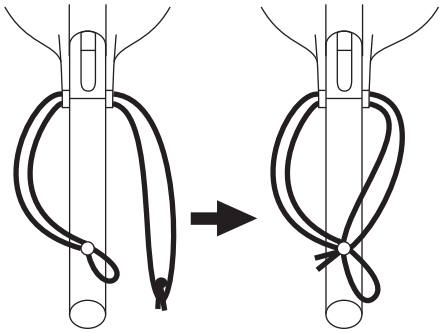
1、仮テンションを掛ける



Kパイプ後端の可動パーツ（TB-R）のテンションフック（裏側のボルト）へ船体布後部のテンションロープの両端をTB-Rの両側から掛けます。

そのままゆっくりとTB-Rパイプを起こしていきます。この時、Kパイプが船体布のセンターと合うように調整しながらTB-Rパイプを水平になるくらいまで倒します。

2、テンションを掛ける



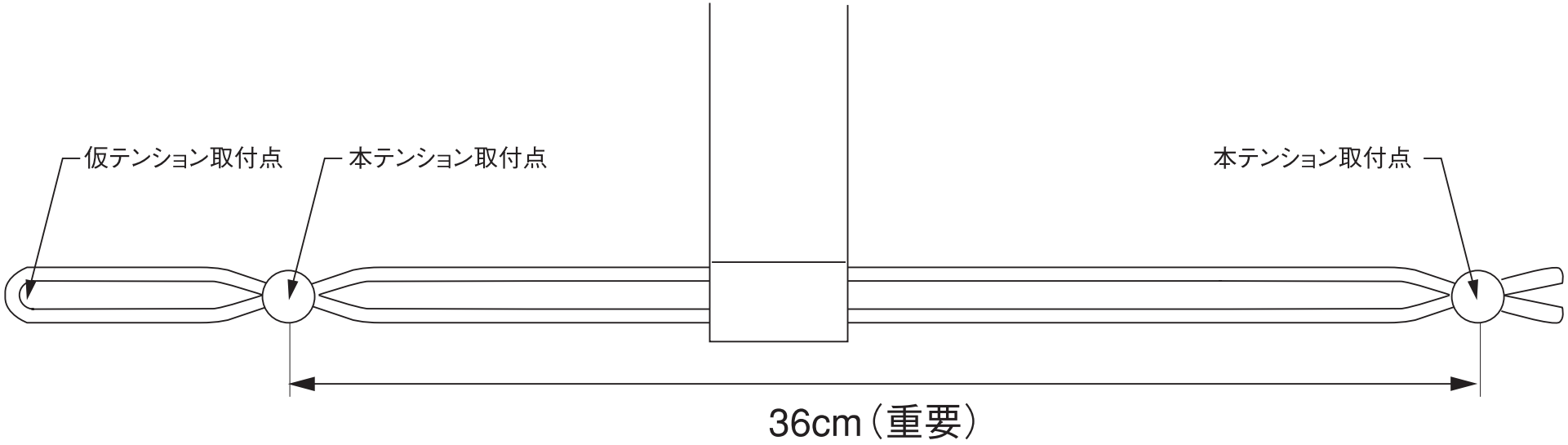
テンションロープを必ず上図のように掛け直し、TB-Rをゆっくりと起こします。次にTB-RパイプにDRパイプを取り付けます。DRパイプをTB-Rパイプの一番奥まで差し込んだ状態でDRパイプを倒してください。

船体布にテンションをかける際の注意

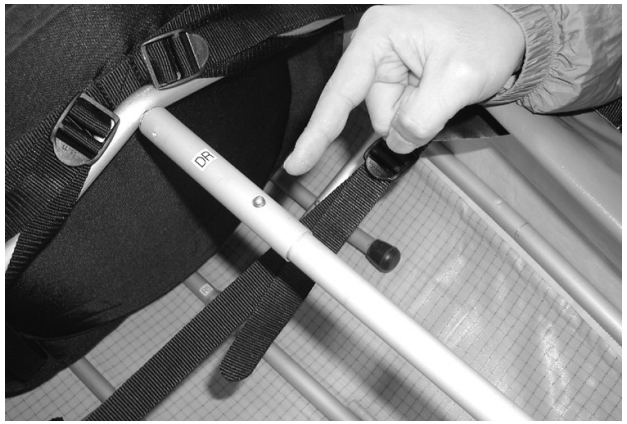
船体布にテンションを掛けた状態でTB-Rパイプから手を離すと、急激にTB-Rパイプが戻り危険ですので必ず手を添えてください。

テンションロープの基本寸法

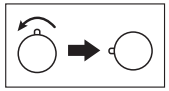
セットアップ時に船体布が上がらない、または船体布が入らない等の原因のほとんどは
テンションロープの基本寸法が伸びていることが原因です。
基本寸法を確認してください。



（18）DRパイプを固定

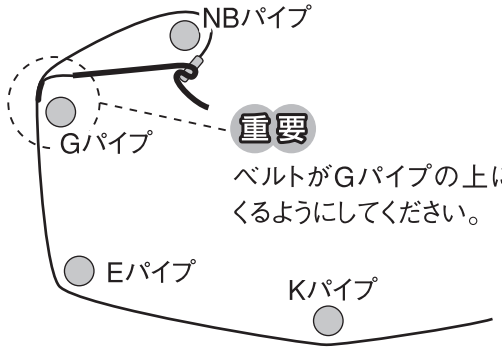


DRパイプ先端のピンをリブ5の頂点の穴へ差し込み、ジョイントピンで固定します。次に、DRパイプをリブ6へ取り付けます。
その後、DRパイプを90度回してピンを横向きにずらしておきます。（図参照）



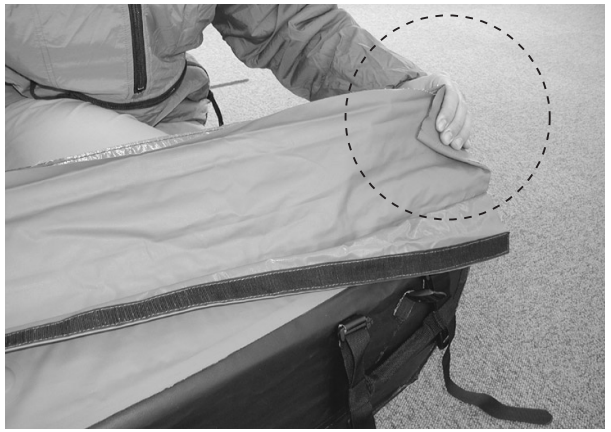
（19）コーミングベルト,ファスナーバックアップベルトを締め、ファスナーを閉じる

【断面図】



コーミングベルト（計8本）がGパイプの上になっている事を確認し左右均等に締めます。（断面図参照）
リアデッキのファスナーバックアップベルトを締めてからファスナーを閉じます。

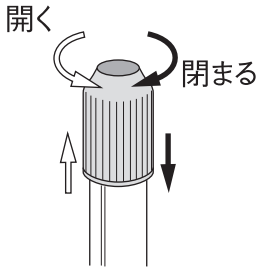
（20）防水カバーのセット



ファスナーの端の部分をU字に折り込みます。次に、左右2枚の防水カバーの生地を重ねて、角を内側に折り込みます。

防水カバーの口部分のナイロンテープを芯にするようにしてマジックテープの付いている面が上を向くまでカバーを巻き込み、もう一方のフラップのマジックテープと合わせるようにセットします。
次に、グラブループ、スタンエンドカバーをセットしてください。

(21) シートを固定し、空気を入れる



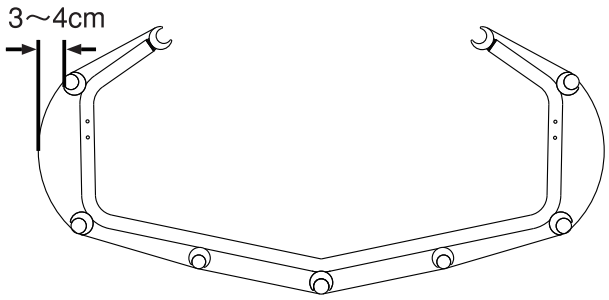
バルブを開いて空気を入れ空気
が入った時点でバルブを閉めます。

シート背面の前側のテープをコーミング内側のバックルへ取り付け、テープの張り具合でシート背面の傾斜を調整します。
エアホースの先端にあるバルブを開き、エアポンプのホースにしっかりと差し込み、空気を入れます。
艇を上から見て3cm～4cm程度ふくらんだ状態が標準です。(図1)
＜注意＞空気を入れすぎると、エアチューブポケットに入り込んだ石のかけら等によりパンクするおそれがあります。
また、気温の状態等により空気が膨張することがありますので、空気の入れすぎには十分にご注意ください。

(22) 完成

最後にテープのゆるみ、左右のバランス等をチェックし、
問題がなければ完成です。

(図1)



VOYAGER460T / VOYAGER520T分解

（1）エアホース先端のバルブを緩め、エアチューブ内の空気を抜き、ある程度抜けた時点でシートとコーミングベルトを外します。
（2）防水カバー、ファスナーを開きます。次にDRパイプ先端のジョイントピンを押してリブ5からピンを抜き、DRパイプをTB-Rパイプから外し、
そのままゆっくりとTB-Rパイプを後へ完全に戻してテンションロープをボルトから外します。
（3）船体布からフレームをゆっくりと抜き、フットブレイスを外します。次に、フレームをセットアップとは逆の手順で分解します。
最後にフレームを折りたたみフレームケースへ収納します。
《注意》フレームを端からたたむと中のゴムが均等な伸びにならないので、各フレームの中央付近の継ぎ目からたたむようにしてください。

⚠ **船体布のテンションを ゆるめる際の注意**	船体布にテンションをかけた状態で、TB-Rパイプから手を離すと急激にTB-Rパイプが戻り 危険ですので必ず手を添えてください。

セールのたたみ方

1）

2）

3）

コーミングの折り位置(コーミングにあるくびれ)に合わせて前後を折りたたみます。
次に縦方向に二つ折りにし、船体布をシンチバンドでまとめます。

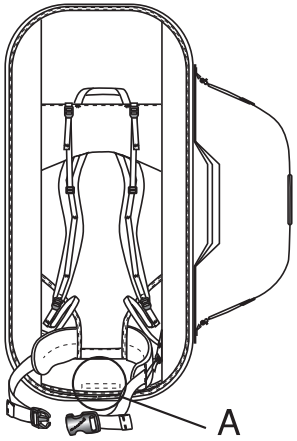
収納

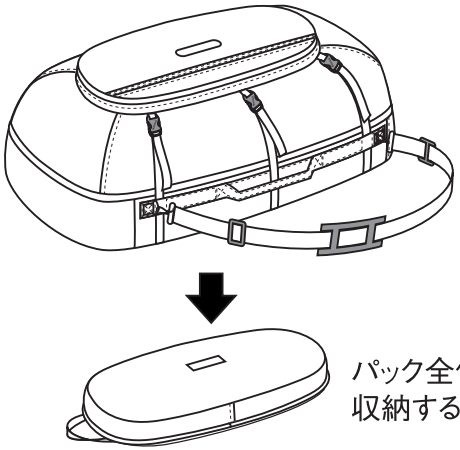
1）

2）

3）

4）





パック全体をアウトポケットに
収納することができます。

●まず、船体布を入れてその後フレームセット・小物類をパックに収納し、内側のストラップで固定します。
（バックパックとして使用する際、船体布がパックのフレームとなりますので必ず船体布から収納してください。船体布から収納すると安定して背負いやすくなります。）
内容量に応じてコンプレッション・ストラップを締めて荷物の揺れを抑えます。
●背面のファスナーを開け、背面システムを取り出せばバックパックとして使うことができます。この時、背面システムを被っていたシートは折りたたんで背面パネル下部のポケット（上図のA）に収納してください。
●カヤックに積み込む際には前面のポケットにパック全体を収納すればコンパクトになります。

●付属のリペアセットを用いて船体布の補修を行われる際は以下の内容を十分ご理解された上で、正しく行い下さいますようお願いいたします。

※リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落としておきます。シンナーは船体布を痛めますので使用しないで下さい。

※船体布の穴、キズの面積にあわせてリペアクロスをカットします。角を丸めた方がより剥がれにくくなります。

※接着面をサンドペーパーで研磨して荒らします。その後、もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。

※ボンドを船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度（1〜2分）乾燥させてから更にもう一度、均一に塗布します。

※もう一度手にべとつかない程度乾燥させてから強く貼りあわせます。ゴムハンマー等でたたくとより効果的です。

※接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させて下さい。

※リペアクロスの大きさにあわせてマスキングテープを使用するとボンドがはみだしません。

※野外で作業をする場合、船体布の温度の上がらない日陰での作業をお勧めします。

※市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、船体布にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと船体布を痛め、場合によっては修理不可能になる可能性がありますのでご注意下さい。

●当製品は、（株）モンベルが開発・製造する国産品です。修理等につきましては、代理店または、弊社まで、お気軽にご相談下さい。修理依頼の際は、必ず、巻末の修理依頼書の様式でご依頼下さいますよう宜しくお願い致します。

（株）モンベル
本社 / 〒550-0013
大阪市西区新町1-33-20

【 フォールディング・カヤックに関するお問い合わせ・・・・・商品・修理・アフターサービス・その他 】
カスタマー・サービス　TEL.06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.com

修理及びパーツリストにつきまして

●修理及びパーツ、その他に関するお問い合わせ全て（見積もり・納期・クレーム等）につきまして、下記、又は弊社ディーラー迄お願い致します。また、パーツのご依頼の際は、必ず商品名・製造番号・パーツナンバーをご連絡下さい。（修理以外の販売につきましては、メーカー直販はおこなっておりません。お近くの弊社販売店をご利用下さい。）

（株）モンベル
本社 / 〒550-0013
大阪市西区新町1-33-20

【 フォールディング・カヤックに関するお問い合わせ・・・・・商品・修理・アフターサービス・その他 】
カスタマー・サービス　TEL.06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.com

●修理依頼品の送り先は、下記のとおりです。必ず、巻末の修理依頼書の仕様でご記入頂き、修理品とともにお送り下さい。

※修理品は、清掃してからお送り下さい。清掃の必要がある場合は、クリーニング料が別途必要となり、納期もかかりますので、予めご了承下さい。

【修理依頼品送り先】

（株）北陸モンベル　飯山工場
〒389-2418　長野県飯山市大字寿字西長峰73-1　TEL.0269-62-3367

●修理及びパーツの依頼につきましては、一週間以内に終了し、送り返せるように行っておりますが、時期及び破損の状況によって、それ以上かかる場合がございますので、予めご了承下さい。

●簡単なセールの修理につきましては、付属のリペアセットをご利用下さい。

※リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落としておきます。シンナーは船体布を痛めますので使用しないで下さい。

※船体布の穴、キズの面積にあわせてリペアクロスをカットします。角を丸めた方がより剥がれにくくなります。

※接着面をサンドペーパーで研磨して荒らします。その後、もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。

※ボンドを船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度（1～2分）乾燥させてから更にもう一度、均一に塗布します。

※もう一度手にべとつかない程度乾燥させてから強く貼りあわせます。ゴムハンマー等でたたくとより効果的です。

※接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させて下さい。

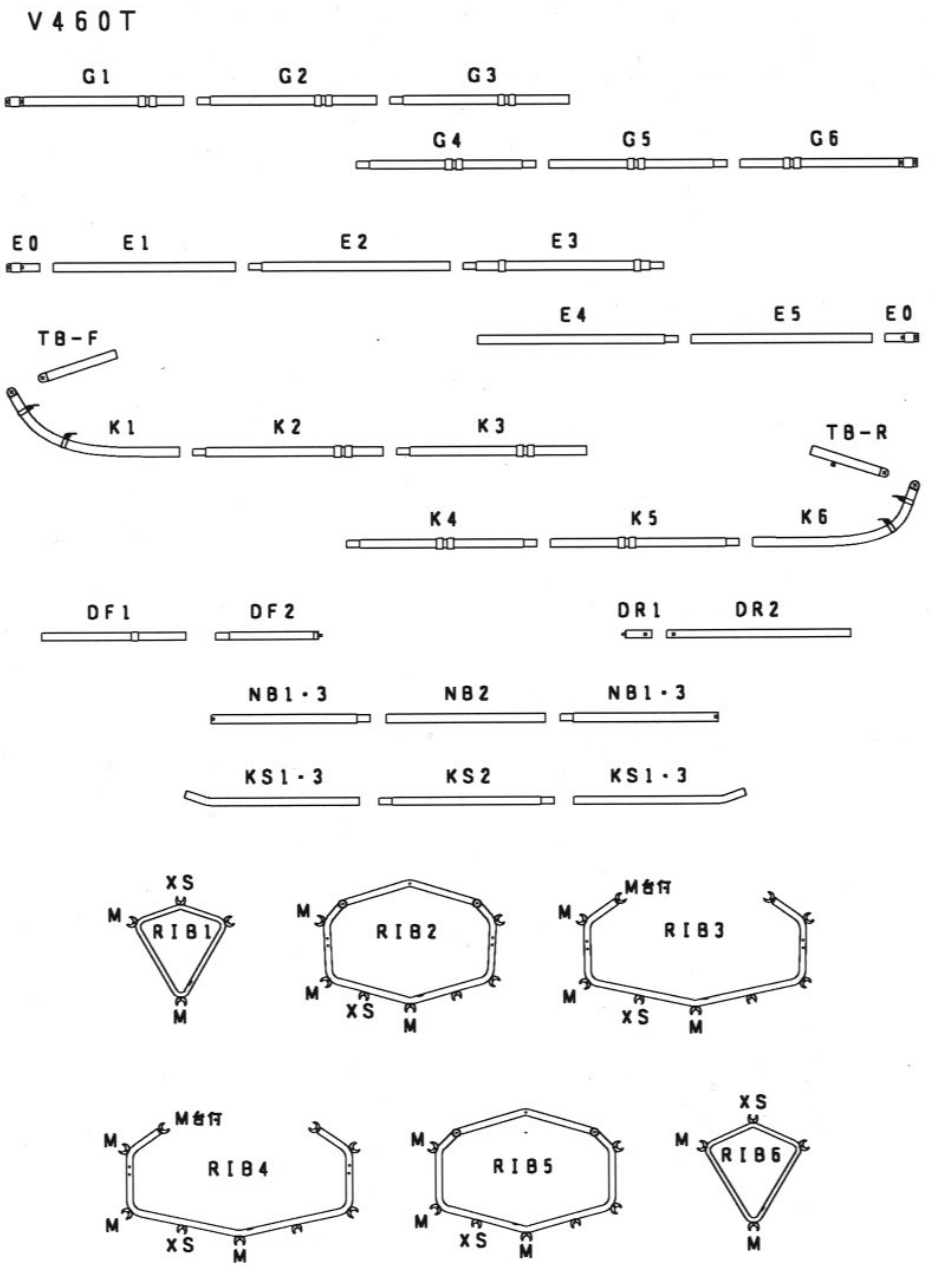
※リペアクロスの大きさにあわせてマスキングテープを使用するとボンドがはみだしません。

※野外で作業をする場合、船体布の温度の上がらない日陰での作業をお勧めします。

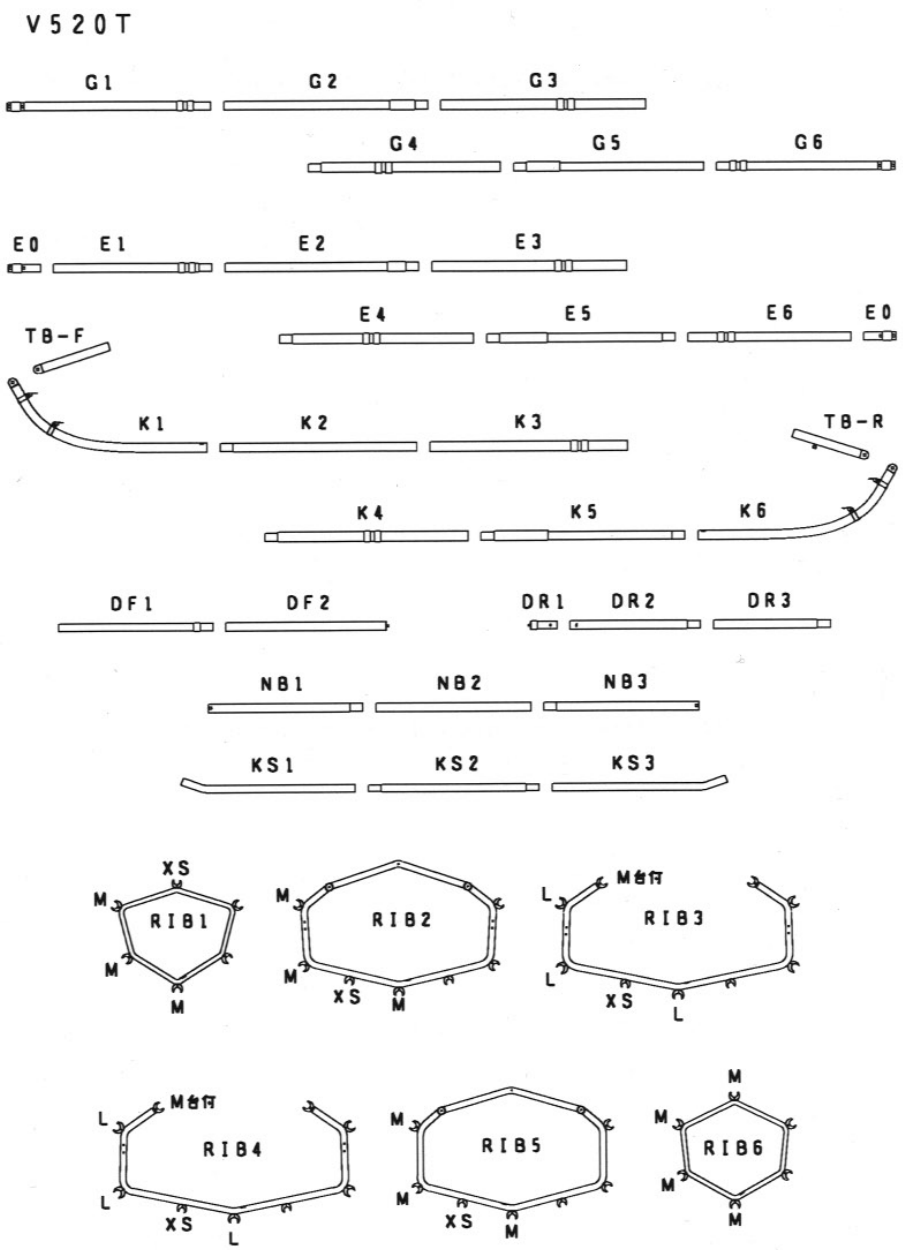
※市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、船体布にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと船体布を痛め、場合によっては修理不可能になる可能性がありますのでご注意下さい。

●価格には送料は入っておりませんので、予めご了承下さい。

●価格及び仕様につきましては、予告なしに変更する場合があります。



ボイジャー520T



ボイジャー460T／520Tパーツリスト　（2006年3月 現在）

ボイジャー460T

NO.	パーツ名	価格(内税5%)
1	G1・G6	1575
2	G2・G3・G5	1000
3	G4	1260
4	E0・E2・E4	640
5	E1・E5	570
6	E3	1300
7	DF1	460
8	DF2	1000
9	DR1	900
10	DR2	650
11	NB1・NB3	900
12	NB2	450
13	KS1・KS2・KS3	750
14	K1・K6	5600
15	K2・K3・K5	1000
16	K4	1200
17	RIB1・RIB6	3100
18	RIB2・RIB5	6800
19	RIB3・RIB4	6240
20	TB-F	900
21	TB-R	1750
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

ボイジャー520T

NO.	パーツ名	価格(内税5%)
1	G1・G6	1750
2	G2・G5	700
3	G3	1050
4	G4	1260
5	E0・E2	640
6	E1・E4	1260
7	E3	1050
8	E5	945
9	DF1	525
10	DF2	1050
11	DR1	1050
12	DR2	650
13	DR3	525
14	NB1・NB3	900
15	NB2	450
16	KS1・KS2・KS3	750
17	K1・K6	5650
18	K2	650
19	K3・K4	1260
20	K5	1050
21	RIB1・RIB6	4200
22	RIB2	7350
23	RIB3・RIB4・RIB5	6825
24	TB-F	900
25	TB-R	1750
26		
27		
28		
29		
30		

・価格には、送料が含まれておりません。予めご了承ください。
・価格及び仕様につきましては予告なしに変更する場合があります。

アルフェック　フォールディング・カヤック
修理依頼書

フリガナ 氏名(またはディーラー名)	修理依頼日
〒　　ー 住所	電話番号
品名	製造番号
商品購入先	
納品希望先住所	
請求書希望送付先	
※修理費用(基本料金・材料代・工賃・その他)の他に、送料自己負担となります。 ※簡単な図を描いて修理希望内容を明記してください。	
※使用日数　　約　　日 ※破損時の状況	※主な使用場所　　川・湖・海
	希望納期日

このシートはコピーしてお使いください